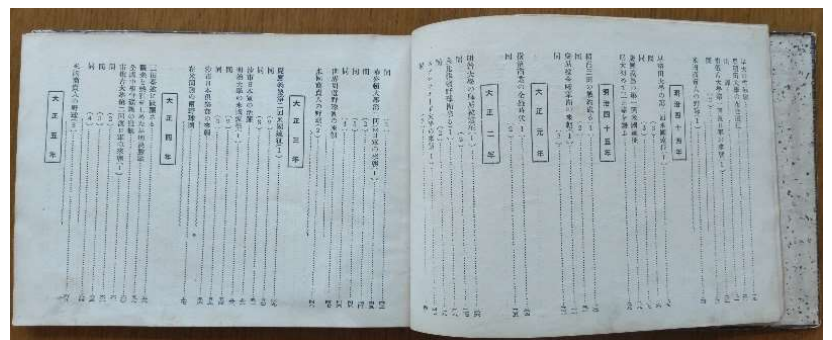
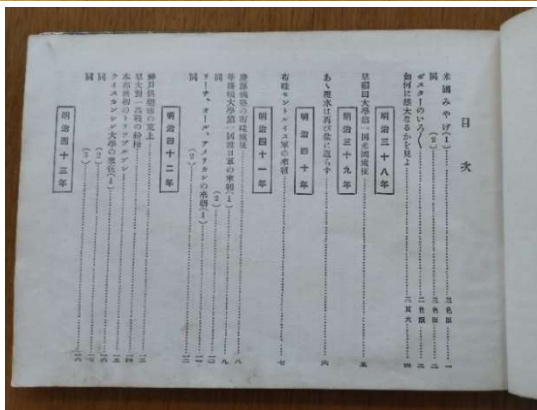
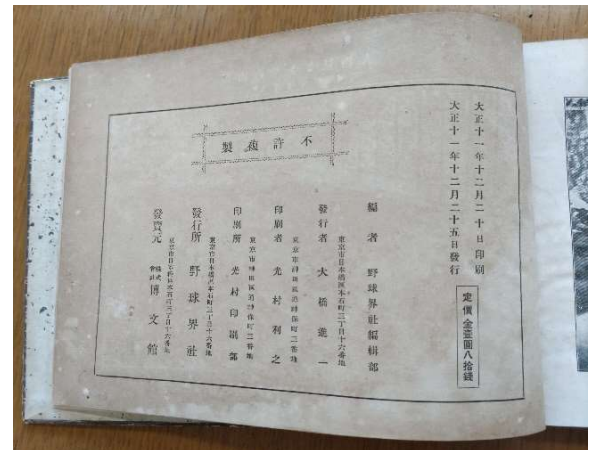


Y校アーカイブ vol. 14 「野球歴史寫真帖」

野球好きの方には垂涎の一冊をご紹介します。大正11年12月に発行された「野球歴史寫真帖」は、明治38年から大正7年までの学生野球を中心とした、全104ページの写真集です。横22.3cm、縦15.5cm、厚さ1.2cmほどの大きさで、紐で綴じられています。金額は「定價 壹圓八拾錢(1円80銭)」とあります。現在に置き換えると4800円くらいでしょうか。発行元は「東京市日本橋區本石町三丁目」にあった「野球界社」で、現在日本橋コドがある辺りに会社をかまえ、明治44年の9月から昭和17年12月まで「野球界」という雑誌を月2回発行していたようです。印刷会社と発売元の会社は現在も存続しています。

この「野球歴史寫真帖」は、国立国会図書館デジタルコレクションにも上がっていますが、冒頭のカラーページは白黒になってしまい、欠けたページもあり、見開きをさらに広げた「如何に雄大なるかを観よ」というく米国商売人グラウンドの大観を現したページもすべてが見られず、その雄大さをつかめません。美しく残されているY校の資料はとても貴重です。



巻頭の4ページのみがカラー写真です。

目次のタイトルからは、明治38年から大正7年までの野球の繁栄の様子が伝わってきます。

見開きを、さらに観音開きにした、約61.5cmのパノラマ写真です。文字が右から左へと書かれているため、読みにくく感じるコメントには「圖は有名なる紐育ポローグラウンドの全景であつて守れるはセントルイス・カーデナル、攻むるは本年の世界選手権獲得チーム紐育巨人軍。其の廣さは優に我が早大グラウンドの二倍もあると云ふ。然るに彼の有名なる本壘打王ベーブ・ルースの一打は屢遙か外野に見ゆる旗の上を二三間もライナーでオーバーするとか此のグラウンドと共に彼の猛打は米國球界の誇りとするに足るであらう。」とあります。



横濱商業の全盛時代 (1)、(2) <大正元年より同二・三年まで> 34、35ページ

右ページには、後の大正12年から13年にかけてY校第二代目の校長となる唯野先生を中心に、12名の選手が、ポジションと名前入りで掲載されています。袖にYのマークが輝くユニフォームには襟がついています。

左ページには「此の時代の横商は實に強かった。大正元年の十月廿日、慶應と一對零の接迫戦を演じて敗れたが、同廿七日には四對三で早大を破り、十一月十日には慶應と再び十三回の延長戦を演じた末、三對三の引分に終るといふ風で。圖は即ち横濱に於ける對慶應二回戦の寫眞で上圖は石川慶應投手の打撃、下圖は加藤横商首將の打撃である。」と書かれています。(一部句点を追加しました)



他のページには、慶應や早稲田、明治などの大学の対抗試合の様子や、沙市(シアトル)、市俄古(シカゴ)、布哇(ハワイ)、麻尼拉(マニラ)などからの遠征試合の様子や、ちょんまげの力士野球団の写真などが掲載されています。